



乾燥させた刻み昆布。鶏のエサに混ぜて、3ヶ月分くらいあるかな。

これから  
しばらく

## 光らないけどヨード卵

「ヨード卵“ナントカ”」って商品が市販されています。たしか1個50円くらいかな。一般の卵が1個10数円とすると、ざっと4倍の値段です。ただし、そんなに生産コストに差があるわけではなく、たとえば1個25円でも十分に採算はとれるらしい。でも、その値段だったら今ほどには売れなかったはず、とは業界関係者の見立てです。

単純な話で、鶏にヨードの多い飼料を与えると、それが卵に移行

するだけのことだそうです。飼料に色素を添加すると、黄身の色が濃くなるのと似たようなものかな。

さて、前号で紹介した「浜通り健康な玉子の会」。そのメンバーで、いわき市久ノ浜で自然養鶏に取り組んでいるTさんが、日立のほうへ行くついでにと立ち寄ってくれて、たくさん手に入るという“刻み昆布”を持ってきてくれました。それが右上の写真。

これを少しずつ水でふやかして

おいて、飼料配合のさいに混ぜるようにします。

というわけで、すずき産地の玉子。しばらくの間、光らないけど“ヨード卵”となりそうです。

ちなみに、たしかにヨードは人体に必要なミネラルですが、日本では海草や魚介類をよく食べるため、ふつうの食生活で不足することはまずありません。って、それを言っちゃあ台無しだよなえ(^^;

## 冬の嵐で大被害

立木が折れ  
ハウス倒壊

まず右の写真。7日、立っていないほどの凄まじい風の中で、橋の上から撮った大北川です。水が吹き上げられ、しぶきとなって飛んできます。初めて見る光景でした。なんて、わくわくしている場合ではありませんでした。

下の写真のとおり、育苗ハウスが潰されてしまいました。7年前に建てたものでした。ビニールもそのときのものだったのに、それが破れて飛ぶのでなく、鉄パイプご

とつぶれてしまいました。ビニールは“スーパーソーラー”という商品名だったと思いますが、その丈夫さには折り紙をつけられます。なんて褒めてるばあいじゃないけど・・・

さらに、写真右下。家の裏の木が倒されました。子どものころ、幹の途中に“巣”をつくって遊んだりしたヒバの大木です。倒れた上のほうの年輪を数えただけでも約80年。根元の直径はその倍はあるので、150年くらいの樹齢でしょう



か。ゆっくり倒れたので建物の大破はなかったけど、それでも瓦が一枚、ぶち抜かれていました。



約50坪のハウスが倒壊。トホホ。

